全国病児保育協議会のホームページ　http://www.byoujihoiku.ne.jp

全国病児保育
協議会
広報委員会

病児保育協議会ニュース

＝今号の目次＝

１頁　協議会メール　会長メッセージ
２頁　第２０回全国病児保育協議会記念大会概要
３頁　加盟施設紹介
　　病児保育室「きしゃぽっぽ」
　　病児・病後児保育シャイン
　　キッズケアルーム　風船
　　「モコモコ保育室」
４頁　支部便り　宮崎県支部から
　　石川県支部から
５頁　支部便り　千葉県支部から
６頁　支部便り　北海道支部から
７頁　支部便り　大阪支部から
　　広報委員会からのお知らせ
８頁　病児保育協議会発行の書籍紹介
　　全国病児保育協議会新規加入の施設

協議会メール
会長メッセージ

全国病児保育協議会　会長　木野　稔

今年（平成22年）４月１日現在、全国の子どもの数（15歳未満）は推計1,694万、29年連続の減少で過去最低となると総務省が発表しました。

一方、今年に入ってから児童虐待により死亡する乳幼児事例が相次ぎ、親が逮捕された等の報道が連日のようになされています。

また、待機児童数は平成21年９月時点で４万6,058人と半年前よりも２万人増え、潜在的な待機児童数は100万人近くになるともいわれます。厚労省は認可保育所の利用要件をなくし、親の働きかたにかかわらず保育所利用をできるよう制度を改正する検討を始めています。

４月17日付けの朝日新聞のコラムでは、日野原重明先生が聖路加国際病院でも病児保育室が開設することになったこと、「子どもに総合的なケアを保障することは、子どもの権利条約にもはっきりと掲げられている」と病児保育の意義と必要性を強調されています。これら一連の事象は一体何を示しているのでしょう。

年々少なくなっていく日本の子どもに対しては、社会全体で子育てを支援し、子どもだけでなく親も一緒に心身共に健康な生活を保てるような保健・福祉対策が欠かせないこと、子どもの病気という育児において最も困難な状況においてこそ専門家が親子を支えるシステムを構築するのが喫緊の課題であるということでしょう。

今年は協議会創立20周年となります。病児保育は「究極の育児支援」であることを訴え続けてきた協議会の理念を今こそ活かす時がきたと言えます。

協議会では、20周年を記念して、一般社団法人への移行、施設認証制度を目指して自己評価調査基準の見直し、機関誌「病児保育研究」の創刊、永年勤続表彰制度による表彰の開始等について企画・準備しています。保育士・看護師・栄養士・事務職等、病児・病後児保育施設で働いておられる職員の方々のご苦労は並大抵でなく、現場の状況や意見を抜きにして病児保育のあり方を議論することはできません。今年度を最初として、毎年研究大会の総会の場で、勤続５年以上の方々を表彰していくことになりました。施設長の方は申請を忘れずに行っていただきますようお願いいたします。

機関誌「病児保育」は現在発行目前です。病児保育事業が真のセーフティネットとなるためには、病児保育はその専門性を確立し、関連領域の研究を通して小児医学に貢献することが求められます。本機関誌がその一助となることを願っています。

協議会が、今後さらに病児・病児保育事業について国や自治体に提言し、効力を出せるように法人格を取得します。今年度からその実際的な作業に入る予定です。事業実態を踏まえた補助金制度のあり方を提言することは協議会の使命です。これからが本番です、協議会役員、支部長のみならず、全会員施設、従業員が一致団結して、病児保育事業を発展させるため頑張りましょう。

はばたけ病児保育！
～専門性のもとに健康支援を～

会　頭：帆足　英一（ほあし子どものこころクリニック院長）
主　催：全国病児保育協議会（会長　木野　稔）
会　期：平成22年7月18日(日)～19日(月:海の日)
会　場：東京ビッグサイト 国際会議場、その他（東京都江東区有明3－11－1）

第20回記念 全国病児保育研究大会プログラム

平成3年に本協議会が発足して以来、通算で研究大会等は20回を迎え、記念大会として記念式典をはじめ充実したプログラムを準備しています。皆様の奮ってのご参加をお待ちしています。

記念講演　：「子どもの命の輝きを大切に」
潮谷　義子(長崎国際大学長・前熊本県知事)

教育講演Ⅰ：「気になる親への理解と援助」
笠原　麻里 (国立成育医療センターこころの診療部医長)

教育講演Ⅱ：「子どもの傍らに在ることの意味」
大場　幸夫 (大妻女子大学学長)

特別講演　：「病児・病後児保育への期待」
天野　珠路 (日本女子体育大学准教授・前厚労省専門官)

研修委員会プログラム:
基礎研修
- 病児保育における保育
- 病児保育における看護
- 病児保育における保育看護

ステップアップ研修
- アレルギー食への理解
- 発達障害児をどう受けとめるか

アフタヌーンセミナー
パネルディスカッション
「病児保育における感染症への留意点」

ワークショップ
①日々の感染症対策への工夫
②接遇の工夫―タラブルへの対応
③協議会ソフト活用によるリスクマネージメント
④新規開設施設の不安と悩み一準備中を含めて
⑤すべてのこども時間を
～ユーモア・コミュニケーション
⑥保育室のヒヤリハット
⑦地域との連携をどう展開するか
⑧保育園型のメリット・デメリット

一般演題（口演発表・ポスターセッション）

ランチョンセミナー
①おむつはずれとおねしょ
② 乳幼児の脱水症と水分補給
③食物アレルギーを合併する
アトピー性皮膚炎のマネージメント
④アトピー性皮膚炎のスキンケア
⑤咳う見て、聞いて、感じる
⑥子どもたちを恐ろしい髄膜炎から守ろう!
一注目される2つの乳幼児用ワクチンー

交流会: ホテルグランパシフィック
LE　DAIBA/ゲスト出演
IWAO/サクラタイフーン

その他詳細: ホームページhttp://apollon.nta.co.jp/hoiku_2010/index.html　をご参照下さい

事前参加登録
お申込み
お問合せ先

（株）日本旅行東京法人・コンベンション営業部MCSセンター　担当：境田・張
〒160-0017　東京都新宿区左門町16-1　四谷TNビル4階
TEL：03-5369-4540　FAX：03-3225-1009　E-mail：mcsinq04@nta.co.jp
営業時間：午前9時30分~ 午後5時30分　土日祝祭日　休業

☆☆ 加盟施設紹介 ☆☆

村上こども医院 病児保育室　「きしゃっぽっぽ」

平成２１年４月１日よりスタートした、私たちの病児保育室「きしゃぽっぽ」は、JR 八戸線小中野駅にほど近いところにあります。日に何度も行きかう電車が窓から間近に見え、体調の悪い子どもたちの心を癒してくれます。

医師の指示を中心に保育士と看護師の専門分野の知識を融合し意見交換しながら、保護者の皆様が安心して子どもを預けていられるよう、日々努力している毎日です。

笑顔で迎え、笑顔で見送る。病児とはいえ一日を楽しく過ごし、帰宅してからも「きしゃぽっぽ」の生活のことで親子の会話に花を咲かせられるようになってほしいと願っています。

定員３名ということで、満員のときは断る時もあります。そんな日はその子どもは一日をどうやって過ごすのか申し訳なく思うこともあります。その反面、利用者がない日が続くこともありこの事業の難しさも痛感しています。

まだまだ「病児保育」という制度を知らない人も多いのも現実です。これからもたくさんの人に知ってもらえる活動も必要と考えています。

看護師　　中村　悦子
所在地：031-0802
青森県八戸市小中野 4-2-8
TEL：0178-41-1133

としわ会診療センターレクリニック 病児・病後児保育シャイン

当施設は、名古屋市の委託事業として、としわ会診療センターレクリニック併設の医療併設型の病児・病後児保育として、今年の３月１日に開設しました。まだ開設から２カ月しかたっていないほやほやの新人です。

定員は６名で、保育士２名が常駐しています。病気の時でも子どもたちが安心して過ごせるように、子どもらしく輝けるようにとの理念のもと、医師・看護師・保育士・事務との連携で様々な病状や年齢に応じて、きめ細かい保育を行っています。

また、病児を預けて仕事に向かう保護者の気持ちにも寄り添い、安心して仕事に行けるように、子育て真っ最中の医師・看護師・保育士を中心に力を合わせて心を配っています。

病気の間、苦しくて泣けてしまう子どもが多いですが、回復に向かって笑顔が出てくると、私たちの心も和みます。シャインにいる間、少しでも多くの笑顔が見られるように努めていきたいと思っています。

医師　　清水　絵麻
所在地：460-0002
愛知県名古屋市中区金山 5-5-11
TEL：052-882-1155

キッズケアルーム　風船

平成１４年５月２７日に滝沢村の委託を受け、病院併設型として病児保育をスタートし早８年目に突入しました。

随分沢山の病児に接してきましたが、皆がわが子？いえ孫のようにかわいいものです。本来であれば母親と一緒にいたいこの子たちを親に代わって暖かい雰囲気のなかで過ごさせてあげたいという気持ちでいっぱいです。

甘えたり、わがままを言ってみたり、その子なりに発するサインを受けとめながら保育看護に努めています。

「病気になったらあそこにいこう」と思ってもらえるような心の拠り所でありたいですね。

「遊び」NO.1 は段ボールで作った２件の家と IH クッキング流し台、冷蔵庫を使っておうちごっこ。なりきりグッズ（カラフルランドセル、お姫様、ヒーロー戦士）などです。喜んでもらえるような遊具を準備して待っています。

所在地：020-0173
岩手県岩手郡滝沢村
滝沢字穴口 377-1
TEL：019-691-6818

八尾徳洲会総合病院 「モコモコ保育室」

八尾徳洲会総合病院病児・病後児保育室は、平成 21 年８月に新病院へ移転し、『モコモコ保育室』と名称を改め心機一転、再スタートを切りました。

部屋数も増え、大部屋１室、隔離室３室になったことにより、感染症の受け入れを拡大し、利用者のニーズに応えられるよう努力しています。
また、各部屋にトイレも設置してもらい、保育がスムーズになりました。

医療機関併設型で小児科外来に隣接されているので、医師・看護師との連携が取りやすく、助かっています。子どもたちそれぞれの年齢や症状に合わせて、楽しく１日を過ごせるようにブロックやままごと等のほか、手作りオモチャ・制作などおこなっています。これからも日々、子どもがゆったりと安心して過ごせる環境づくりに心がけ、より良い保育を目標に努力していきたいと思います。

保育士　　曽我・永田
所在地：581-0011
大阪府八尾市若草町１番 17 号
TEL：072-993-8869

東西南北支部便り

宮崎県支部から

みやざき病児保育交流会

社会福祉法人惣栄会　ひよこ保育園　原　文子

みやざき病児保育交流会では、「有志の会」として年５～６回を目標に定例会を開催しています。

宮崎県は九州の東側に南北に長くあるため、県北、県央、県南とそれぞれ地域ごとに流行の病気も違います。流れを追って流行するため、情報交換や利用状況の報告がとても役立ちます。

９年目を迎える交流会では、宮崎県内の病児保育の質を高め、統一したサービスが提供できるように、定例会では毎回テーマごとに保育と看護について学習を行い、その後の自由討議によって各施設での対応で困った事や不安な事を解消できるように先輩施設から新規施設へのアドバイスも行っております。

例年、全国病児保育協議会研修会へ参加した方々からの還元報告をして頂く事で、全国の状況もお伝えしています。その他にも全国病児保育協議会で発表した演題を使って「病後児保育での記録」「病児の対応について」「看護師と保育士の連携」「地域との連携」「病児保育を担うにあたって」などの学習会も組み込んでいます。

最近では、2010 年４月 18 日に第 28 回の定例会が開催されました。この日は、前年の新型インフルエンザの影響で半年ぶりの開催となったこともあり、話題は新型インフルエンザの対応がどうだったかという事から現在流行っている疾患にまで豊富な意見が出されました。

また、昨年２月には全国病児保育協議会宮崎県支部会主催の学習会へ協賛させていただきました。

今後も交流会の活動を通して、私たちが病児保育に関わっていく中で、何が必要なのか、何を必要とされているのかを感じ取りながら今後の病児保育活動に役立てて行きたいと思います。

石川県支部から

第４回石川県支部交流会

健生病児保育室ほっとルーム　原田　圭子

2009 年６月 28 日（日）に金沢市の教育プラザ富樫 123 研修室にて、第４回石川県支部交流会を開催いたしました。毎年、協議会の非加盟施設にも声をかけ、今年は加盟施設４施設、非加盟施設 11 施設（病児保育９施設、病後児保育３施設、体調不良児対応３施設）から 32 名(医師２名、事務長１名、看護師９名、保健師１名、保育士 19 名）の参加がありました。

まず、《病児・病後児保育事業の見直し》について、石川県健康福祉部少子化対策監室子育て支援担当課長の村上美和子氏に 30 分講義をしていただきました。その後の質疑応答で、体調不良児施設から「熱が出たら一度親に連絡をとって医療機関を受診してもらってから保育園に戻ってきて、保育をしているという体調不良児対応施設がある。体調不良児施設の正しい位置づけはどのようなものか」という質問が出されました。「それは本来の位置づけからは違う。」という回答がありましたが、施設によっては、病児・病後児保育施設が行なっているような受け入れ方をしているところがあるという現状がわかりました。

その後、事前アンケートで寄せられていた質問・疑問点を基にしながら、意見交換しました。病児保育施設の参加人数が多かったため、形態別ではなく地域を考慮して、病児グループ１グループ、病児･病後児グループ１グループ、病児・体調不良児２グループと、４グループに分け、７～８名の少

東西南北支部便り

人数で討議しました。村上氏も“現場の状況を知りたい”とのことで、それぞれのグループに参加されました。

病児グループでは、それぞれの施設の紹介（利用システム、対象児など）から始まり、どのような食事を提供しているか、食事の試食会をしたい、玩具の消毒方法、入室児がゼロのときの保育者の対応などを話し合いました。また、病児保育の利用経験がない方の中に、“病児保育室はただ寝かされているだけ”というイメージの方がおり、もっと広報などで保育室の様子を伝えられればいいのではないか、といった意見がありました。また、同じ市内でも利用システムが違うので、保護者の方に他施設を紹介するときに役立てたいという意見もありました。

病児・病後児グループでは、医師連絡票について、医療行為を保育室内でどこまでしてもよいか、

延長保育について、入室児の様子などを話し合いました。病後児施設では、急性期を預かざるを得ない状況がよくあり、何かあったら…という不安と保護者の気持ちとの板ばさみになっている現状がうかがわれました。病児と病後児施設がある自治体では、連携が必要だと感じました。また、他院を受診してからの入室でも医師連絡票ではなく、保護者からの口頭説明のみで受け入れしている施設もあり、書類の整備等が必要ではないかと思われました。

病児・体調不良児グループでは、保育室のシステムに同意してもらえないときの対応について、テレビ・ビデオの使用について、定員オーバー・月齢差の保育について、保育園での看護師の役割について、解熱剤の使用についてなど話し合いました。体調不良児対応施設では、どのように保育しているか、親との連絡はどのようにしているかが紹介され、体調不良児施設の理解が深まりました。また、病児施設で、保育園からの呼び出しにも対応している施設もあり（保育園まで看護師・運転手が迎えに行き、受診を保護者に代わって行なっている）、それぞれの施設によって、さまざまな運営の仕方があることがわかりました。また、体調不良児対応施設からは、翌日、病児保育か病後児保育かどちらを紹介すればよいのか迷うが、病児保育施設がない自治体なので、同じ自治体に病児保育施設ができたらよいと思うという意見が出されました。

最後に、協議会の紹介、アンケートの記入をお願いし、終了しました。「他の施設の事がわかってよかった。参考にしたい。」「何も知識がなかったので、いろいろな情報を得ることができてよかった。」「普段悩んでいることや、疑問に思ったことを聞けてよかった。」などの意見が寄せられ、10：00～12：00の短時間でしたが、日頃悩んでいることの解決や改善につながった会になったのではないかと思いました。今後も、石川県の病児・病後児・体調不良児施設がよりよいものとなるよう、みんなで話し合いながら、交流会を開催できたらと思っています。

千葉県千葉市茨城県支部から

千葉県千葉市茨城県支部合同研修会報告

おおた小児科循環器科病児保育室ミルキー　太田　まり子

2010年4月18日の日曜日午後、千葉駅近くの京葉銀行文化プラザにて、第2回千葉県千葉市茨城県支部合同研修会が開催されました。参加者62名（医師8名、看護師12名、保育士40名、他職種2名）、昨年千葉市で開催された19回全国研修会で協力し、顔見知りも多くなった方々と久しぶりの再会でした。講演が2題、職種別懇談会と施設長会議を同時進行で1時間という構成でした。

肺炎球菌ワクチン「プレベナー」について

まなこどもクリニック　原木真名先生

今年2月から接種できるようになったプレベナーの概略と必要性について大変わかりやすく講演していただきました。ヒブと共に細菌性髄膜炎予防ワクチンとして大変重要であること、細菌性髄膜

炎は致死率も高く後遺症も重篤な上、初期診断が難しく、耐性菌が増えているため治療が困難なこと、ワクチンのみが有効な予防策であること、導入された国の劇的な効果を踏まえた有効性の説明、接種スケジュール、その他のワクチンの紹介など、濃密な情報をお話くださいました。

病児保育室では保育士にもワクチンの知識は必須ですが、近年のワクチン状況は激変しており常に新しい知識を吸収していかなくては間に合いません。このような講演は本当に大切だという感想が聞かれました。

「こどもの育ちに寄り添う～子どもの発達と親の関わり」

臨床心理士　花澤佳子先生

豊富な臨床経験から、現代の親子関係、特に〝未熟な親〟という視点から、大変パワーのある講演を聴かせていただきました。愛着を確立するために無条件に受け入れられる体験が大切だということや、基本的信頼感→自我の芽生え→社会性の獲得ができてくることの再確認が出来ました。

集中力は３才で５～10分、成人でも30分！程度しか保てないとのお話は、我が身に置き換え笑いながらも大いに納得出来ました。

さらに、保育の現場で何ができるかという事にも及び、親以外の大人が子どもの基本的信頼能力を培うためにできることをお話いただきました。現代の未熟な親、未熟な親子関係を理解した上で、支援していく大切さ、支援と甘やかしとは違うこと、親と共に大人として何をすべきか一緒に考え寄り添う必要性を再認識し、今一度病児保育という現場で自分達に何ができるかという事を考えるきっかけをいただきました。

保護者も保育者も、心身ともに健やかでないと子どもに向き合えないことも忘れてはならないことでした。

懇談会では保育士は「利用人数に応じた保育の工夫」について４グループに別れて活発な意見交換が行われました。預かり人数が少ないときのスタッフの業務については、やはり掃除消毒、壁面工作などの制作､書類やデータの整理、等が多いようでした。

事前登録にじっくり時間をかけたり、公民館等に掲示するPRポスター作り、小児科外来を手伝ったり、病棟があるところは入院患者の保育をする場合もあるそうです。

看護師は「病児保育における看護の課題」について、それぞれの自治体や設立母体の違い、看護師が常駐かどうかによる差に驚いたり共感したりしながら、保育士との協働、看護の必要性、具体的な消毒や隔離の方法等について多くの話題が出ました。

どのグループも議題以外の様々な話も大変に盛り上がり、時間が足りないようでした。事後のアンケートでも、全国大会とはまた違う良さのある地域での研修会は、継続的に開催してほしいという意見が多く寄せられ、今後も病児保育に携わるスタッフの研鑽や、病児保育への理解と普及、安定した運営などのためにも大切なものであると感じました。

北海道支部から

「北海道こども緊急さぽねっとネットワーク会議」に参加して

ひなたぼっこ病児保育室　常丸　香織

2010年３月１８日（日）、札幌市かでる２･７で開催された「北海道こども緊急さぽねっとネットワーク会議・特別講座」に参加してきました。

「こども緊急さぽねっと」はＮＰＯ法人北海道子育て支援ワーカーズが厚生労働省事業「病児・緊急預かり対応基盤整備事業」を受託し、活動している事業です。

特別講座では熊本市から病児・病後児保育室の委託を受け、先進的な取り組みをされている医療保育専門士の永野和子さんをお招きし、「両立支援の現場から多様な子育て支援を考える」と題して、NPO法人チャイルドサポートみるくの取り組みをご紹介頂きました。

「みるく」が、現在の「病児保育室みるく」と「緊急サポート事業」の組み合せに至るまでのあゆみと、現在の実施状況等をご説明頂き、それぞれの利点、弱点をサポートしつつ、利用者支援につなげていっている方法は、大変興味深く、参考になりました。

現在の北海道の病児・病後児事業は、各自治体が支援体制を整え始めたばかりのところも多く、ファミリーサポート、緊急サポート、病児保育室、病児デイケア施設等が点々と存在している状況です。今回のように各地のファミリーサポートに所属する方々、中央である札幌圏の行政の方々が一同に集まる機会に参加できることは数少なく、病児保育協議会、全国病児保育研究大会のパンフレットを配布できるいい機会となりました。

北海道では、まだ病児保育協議会への加入が進んでいない状況ですが、病児・病後児保育の認知、理解、普及のため、またこのような機会があれば、点と点とのつながりが少しでも出来るよう、参加していきたいと感じています。

大阪支部から

第８回大阪支部定例会

病児保育室こひつじ　岸本　範子

2010 年 2 月 27 日、第 8 回大阪支部定例会が開かれました。まだまだ寒さが残る土曜日の午後からの集まりでしたが、23 施設 39 名参加の盛況な会となりました。

冒頭、大阪支部長浜本芳彦先生から 21 年度の全国及び大阪支部内の病児・病後児保育室の稼働状況の現状報告がありました。支部長より報道記事や分かりやすいレジメが配布され、政権交代における子育て支援政策（こども手当・待機児童問題・幼保一元化など）の検証、補助金制度の改編による経営難に陥る施設の発生などの説明を受けました。また、昨年から猛威をふるった新型インフルエンザの影響の大きさを指摘されました。支部会においても、新型インフルエンザの学習会を開き、保育室スタッフへの正しい知識、情報収集の方法など学びましたが、府内各市町村からの通達等のばらつき、錯綜する報道や事業経営主体の違いから（医療機関・保育園・児童養護・乳児院など）、発熱児の受け入れについては、それぞれの施設で判断せざるをえず、そのため利用人数が大きく減少した施設が多くあることが現状です。

以上の施設運営に大きく関わる問題を、大阪支部会は支部長を中心に、22 年度も注意深くみていくことで、対行政交渉に役立てることが必要と感じました。

今回、協議会広報委員長、八尾徳洲会総合病院「病児保育室モコモコ」の神原雪子先生のご紹介で東京から、毎日新聞社・厚生労働省担当記者の清水健二氏にご出席いただきました。ご自身の取材における全国の病児・病後児保育の現況や、政府が掲げる今年度（21 年度）事業目標と、あらゆる努力をしても運営面で多くの困難を抱えてしまう、保育室との大きなギャップがあると話されました。今後も国民が子育て支援策の病児・病後児事業に注目するよう取材を続けたいと、心強い言葉をいただきました。

このあとの学習会は、大阪市城東区の「すみれこどもケアルーム」看護師、石橋加寿美さんから＜こどもの救急・こんなときどうしたらいいの＞をテーマに講習を受けました。兵庫県医師会発行のこどもの救急ガイドをテキストに、日常、家庭内や病児・病後児保育室でのこどもの急な症状、それに対する処置を分かりやすく説明していただき、明日からでもすぐに役立つ内容となりました。

22 年度は協議会発足 20 周年の年です。大阪支部定例会も、行政の動向や流行疾患情報をいち早くとらえ、各担当者で内容を協議し、充実した一年を目指します。施設間の連携強化や保育・看護の学習会を通してスタッフのスキルアップでモチベーションを高め、各保育室が保護者やこどもたちにとってより安心・安全な場所でありたいと思います。

第２０回全国病児保育研究大会 in 東京における「広報 WORLD」開催についてのお願い

広報委員会では、平成２２年度　全国病児保育研究大会 in 東京において、「広報 WORLD」を開催いたします。

各地に多様な形態で広がりをみせる「病児保育協議会加盟施設」の中で、他施設の状況やどのような取り組みがなされているか知りたい！という声をよく耳にします。また、各施設の取り組みなどを知ることで、互いに連携することができるようになればとの、気持ちも込めての開催です。

４月の末に各施設あてに、「はばたけ病児保育！」のシートをお送りしていますので、絵を描いても OK! 色塗りも OK! で各施設オリジリティーあふれる作品をお待ちしています !! また、締め切りも 6 月 15 日まで延長しました！

問い合わせ先　みるく病児保育室（永野）096-351-8825

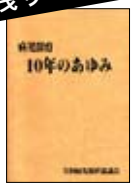
好評販売中です

「改定 新病児保育マニュアル」

●B5 版　４２０頁
●価格　１冊　会員３２００円
（送料・税込み）
非会員４２００円
（送料・税込み）

病児保育に関する事がすべて網羅されたバイブル的マニュアル本です。平成２１年度改訂版です。一人に１冊持っていただきたい必読書です。

「病児保育１０年のあゆみ」　残り 40 部



●B5 版　１０４頁
●価格は　１冊１６００円
（送料・税込み）

全国病児保育協議会設立１０周年を記念して発行され、設立当初からの歴史を網羅しました。

※ご購入は、全国病児保育協議会のホームページより申込書をダウンロードしてFAX にて全国病児保育協議会事務局までお申し込み下さい。

「施設紹介コーナー」「東西南北支部便り」を連載中！加盟施設のみなさん原稿をどしどし送ってください。また、各施設で特に取り組んでいることや楽しい出来事などがあれば、紹介させてください。原稿をお待ちしています。

＜協議会ニュース　編集事務局＞

〒 531-0076　大阪市北区大淀中３丁目１５- ５
（株）関西共同印刷所内　藤本　文孝　宛
TEL.06-6453-3675　FAX.06-6442-5788
E-mail　fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp

第 20 回記念研究大会について

全国病児保育協議会が発足してから今年で 20 年を迎えます。発足当初は、加盟施設 14 施設からの出発でした。現在の加盟施設数は、452 施設となっています。

今年の研究大会は、20 周年記念大会として平成 22 年 7 月 18 日（日）・19 日（月祝）の２日間にわたり東京ビッグサイトにて開催されます。この記念大会に多数の会員のみなさまに参加いただきますようお願いいたします。

大会ホームページは
https://apollon.nta.co.jp/hoiku_2010/index.html

全国病児保育協議会新規加入の施設

459 ◆ＮＰＯ法人　たけはらふれあい館
病後児保育室　「さくらんぼ」
理事長　岩本　正則
〒 725-0026
広島県竹原市中央 2-4-3
TEL：0846-22-9100　FAX：0846-27-9010

460 ◆ほっぺ病児保育園
施設長　太治　憲男
〒 737-0141
広島県呉市広大新開 1 丁目 4-19
TEL：0823-74-5250　FAX：0823-74-5250

461 ◆エンゼル保育園
園　長　市川　裕司
〒 370-0515
群馬県邑楽郡大泉町下小泉長沼 410
TEL：0276-63-0377　FAX：0276-63-0482

463 ◆あおば医院　病児保育室
院　長　千木良　真保
〒 153-0043
東京都目黒区東山 1-1-2 東山ビル 2F
TEL：03-3711-7785　FAX：03-3711-7819

464 ◆西国分寺保育園　おひさま保育室
施設長　角田　文代
〒 185-0013
東京都国分寺市西恋ヶ窪 2-18-1
TEL：042-300-4488　FAX：042-300-4499

465 ◆愛知県厚生農業協同組合連合会
豊田厚生病院　病児保育室ぴよっこ
院　長　片田　直幸
〒 470-0396
愛知県豊田市浄水町伊保原 500-1
TEL：0565-43-5000　FAX：0565-43-5100

466 ◆佐藤病児保育室
院　長　佐藤　克子
〒 802-0801
福岡県北九州市小倉南区富士見 1 丁目 4-1
城野ダイエー店 5F
TEL：093-952-6054　FAX：093-952-6057

467 ◆医療法人　上原医院　病児保育室ユーネスト
院　長　上原　久和
〒 621-0862
京都府亀岡市西町 37
TEL：0771-22-0347　FAX：0771-24-9990

468 ◆病児保育室　ペンギンハウス
理事長　瀬口　正史
〒 683-0805
鳥取県米子市西福原 9 丁目 16-26
ファミリークリニック　せぐち小児科内
TEL：0859-38-0780　FAX：0859-38-0781

以降の加盟施設は次号で

全国病児保育協議会事務局
〒 535-0022　住所：大阪市旭区新森 4-13-17　社会医療法人真美会中野こども病院気付
担当：薮田・堀込　　電話：06-6952-4778　　ＦＡＸ：06-6954-8621